

平成 24 年 3 月 6 日

国土交通省海事局

外国船検査が転覆・沈没事故を未然に防止

18か国、7千5百隻の検査を国土交通省が分析

日本、韓国、オーストラリア等アジア太平洋地域 18 か国は、昨年 9 月から 1 月までの 3 ヶ月間共同で、入港する外国船の構造安全に焦点を当てた集中検査（ポート・ステート・コントロール）を 7,534 隻に実施しました。この集中検査で発見された欠陥の 36.6%、1,072 件で、貨物船の転覆・沈没の原因となる貨物倉ハッチカバーの構造欠陥など開口部保護の不備が是正されました。今回のポート・ステート・コントロールによる集中検査は、船舶の転覆・沈没事故の未然防止に貢献するものとなりました。

貨物が石炭や鉄鉱石の場合、荒天時にハッチカバーの構造欠陥から海水が浸入すると、船舶の動揺により海水を含んだ貨物が液状化し、動揺と同調して転覆・沈没の危険にさらされることとなります。経済成長により、オーストラリア、ブラジルから中国への鉄鉱石の海上輸送量が年 5 割増になるなど天然資源の海上荷動きが増加しているアジア太平洋地域においては、2010 年後半からの約 1 年間で 4 隻の鉄鉱石運搬船が貨物の液状化により沈没し 66 名の人命が失われており、鉄鉱石運搬船の転覆・沈没事故を減少させることが課題となっています（次ページの表 1 及び 2 参照）。

集中検査で発見された欠陥例のひとつが下の写真のケースです。ハッチカバーの欠陥か



写真：

ハッチカバーの欠陥から貨物倉に浸水したため貨物（石炭）が液状化して大傾斜した外国船

問い合わせ先：

国土交通省 海事局 総務課
外国船舶監督業務調整室 伏見、富田
(代表) : 03-5253-8111
(43-177、43-176)
(直通) : 03-3580-5090

ら荒天時に海水が浸入し、石炭貨物が液状化し船体が大傾斜したものです。幸い転覆には至りませんでした。非常に危険な状態でした。この船舶は、ハッチカバーの覆いを増設することにより、関係条約の基準に適合した後に出航しましたが、このようなハッチカバーの欠陥など開口部の構造の不備を検査で早期に発見し是正することにより、船舶の転覆・沈没事故を未然に防止することができます。

検査は、入港する外国船に対し、船舶の構造設備などが国際条約に定める基準を満足していることを確認するもので、ポート・ステート・コントロールと呼ばれています。今回集中検査を行った船舶を旗国別に見るとパナマ 1,900 隻(32.2%)、次いで香港 468 隻(7.9%)、リベリア 366 隻(6.2%)、シンガポール 347 隻(5.9%)などとなっています。また、7,534 隻の内、1,558 隻は日本がポート・ステート・コントロールを実施しました。

上記の国土交通省による分析結果の報告書は、アジア太平洋地域 18 か国のポート・ステート・コントロール地域協力の委員会（4月にチリで開催予定）に提出されます。委員会では、ポート・ステート・コントロール実施の重点化対策などを議論する予定です。

表1 世界の海上荷動き（鉄鉱石、石炭）

		輸送量（2009年、百万トン）	対前年伸び率（%）
鉄鉱石	世界	907	8.6
	豪州→中国	267	45.2
	ブラジル→中国	145	50.2
石炭	世界	805	0.8
	豪州→中国	47	1247.2
	インドネシア→韓国	33	26.8

出典：平成 23 年版海事レポート（クラークソン、商船三井）

表2 2010年以降に報道されている貨物液状化に起因した鉱石運搬船の沈没情報

	船名	沈没海域
2010年10月	Jian Fu Star 号	台湾沖
2010年11月	Nasco Diamond 号	沖縄沖
2010年12月	Hong Wei 号	台湾沖
2011年12月	Vinalines Queen 号	フィリピン沖

（ご参考を添付）

ご参考

ポート・ステート・コントロール (PSC) の主な地域協力

PSC は、隣接する各国が地域単位で協力して行うことが効果的であるため、欧州で、1982年に地域協力に関する覚書（パリ MOU ; Memorandum Of Understanding）が結ばれたの
に続き、アジア太平洋地域でも、日本の主導により 1993 年に地域協力に関する覚書（東京
MOU）が結ばれ、東京に事務局（名称：東京エム・オー・ユー事務局）が置かれています。

① PSC アジア太平洋地域協力（東京 MOU）参加 18 か国

オーストラリア、カナダ、チリ、中国、フィジー、香港、インドネシア、日本、韓国、
マレーシア、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィリピン、ロシア、シンガポ
ール、タイ、バヌアツ、ヴェトナム

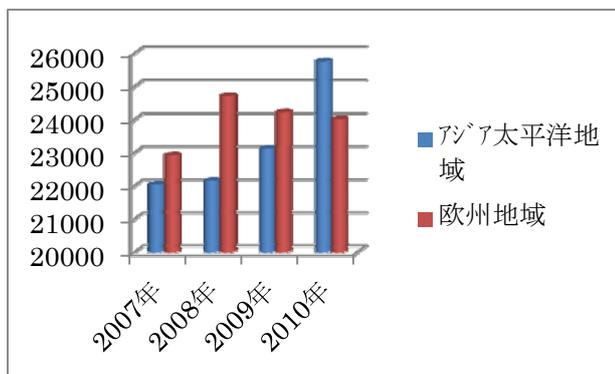
② PSC 欧州地域協力（パリ MOU）参加 27 か国

ベルギー、ブルガリア、カナダ、クロアチア、キプロス、デンマーク、エストニア、フ
ィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラ
トビア、リトアニア、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマ
ニア、ロシア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、英国

写真 救命設備（救命艇）の検査



図表 外国船検査数の推移



PSC 欧州地域協力の集中検査の結果

PSC 欧州地域協力においても、同時期（昨年 9 月～11 月）に入港する外国船の構造安全に焦点を当てた集中検査を 4,250 隻に実施しました。発見された構造安全の欠陥 1,589 件の 7%が開口部保護不備で、検査を行った船舶を旗国別に見ると、パナマ 493 隻(11%)、マルタ 387 隻(9%)、アンティグア・バルーダ 343 隻(8%)、リベリア 306 隻(7%)などでした。